

# 令和元年度 3R活動推進フォーラム事業報告

## I 組織運営

### 1. 理事会・総会

理事会・総会を令和元年6月3日(月)に法曹会館「高砂の間」(東京都千代田区霞が関1-1-1)で開催し、①平成30年度事業報告及び収支決算(案)②令和元年度事業計画及び収支予算(案)について議決をいただいた。

### 2. 企画・運営委員会

令和2年3月12日(木)に予定していた企画・運営委員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から中止した。

## II 会員の強化・拡充

### 1. 取組

①令和元年8月1日(木)に開催された環境省主催の全国廃棄物・リサイクル行政主管課長会議資料に3R活動推進フォーラムの紹介及び入会案内を掲載していただいた。

②会員の強化・拡充については、政令指定都市の未入会団体等に入会案内を送付するなど広報活動に努めるとともに、機会があるごとに市を訪問するなどして入会をお願いした。

### 2. 入会状況

会員の入会状況については、墨田区が入会した。令和2年3月末日現在、73自治体会員(47都道府県、7政令指定都市、10特別区、9中核市・特例市・一般市)と68民間団体で141団体となった。(資料2の会員名簿を参照)

## III 3R推進全国大会及び関連事業

### 1. 第14回3R推進全国大会の開催

「第14回3R推進全国大会(以下、「3R推進全国大会」という。)を令和元年10月29日(火)13時~16時30分に環境省、関東地方環境事務所、新潟市と共に、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター国際会議場で開催した。

#### (1) 第14回3R推進全国大会の概要

□開催日：令和元年10月29日(火)

□会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 国際会議場(マリンホール)  
新潟県新潟市中央区万代島6番1号

□主催：環境省、関東地方環境事務所、新潟市、3R活動推進フォーラム

□参加者数：400名

□プログラム

## 【第1部】式典

- ・主催者挨拶 石原宏高環境副大臣、中原八一新潟市長、  
崎田裕子 3R活動推進フォーラム副会長
- ・来賓挨拶 佐藤豊美新潟市議会議長
- ・表彰式 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰（6企業、6団体）  
3R促進ポスターコンクール表彰（最優秀賞 小学生3名、中学生1名）

## 【第2部】記念シンポジウム <sup>n i g a t a</sup> 新 型 イニシアティブ～知識と意識で3Rを推進～

- ・基調講演 「SDGsと3R促進、地域循環共生圏構想の推進」  
環境省中央環境審議会循環型社会部会委員・3R活動推進フォーラム副会長  
崎田裕子氏
- ・事例発表 新潟発「ライスバレーにいがたプロジェクト」  
株式会社バイオマスレジ南魚沼専務取締役経営企画室室長 中谷内美昭氏
- ・パネルディスカッション ～食品ロス削減へ！これからのイニシアティブ～  
(コーディネーター)  
NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長 崎田裕子氏  
(パネリスト)  
新潟薬科大学応用生命科学部特任講師 石丸亜矢子氏  
イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー  
広報・環境社会貢献グループマネージャー 山城篤司氏  
新潟お笑い集団NAMARA代表 江口 歩氏  
新潟気軽に省エネくらぶ代表 波多野千代氏  
環境省環境再生・資源循環局総務課循環型社会推進室室長 富安健一郎氏

## (2) 関連イベント

### ①施設見学会

大会当日の午前中に廃棄物焼却施設の施設見学が行われ、参加者は終了後大会に参加した。

□日 時：令和元年10月29日（火）9：00～12：25

□参加者数：44名

□見学施設

・コース 新潟市亀田清掃センター（新潟市江南区亀田1835番地1）

### ②3R推進展示コーナー

環境省、関東地方環境事務所、新潟市、3R活動推進フォーラムの各主催者による展示を始め、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等3R推進団体連絡会、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット、新潟県、新潟市、地元企業等31団体による展示コーナーを設置し啓発活動を実施した。開会前には、石原宏高環境副大臣、中原新潟市長、崎田3R活動推進フォーラム副会長が展示コーナーを訪れ出展団体との交流を図った。

## 2. 令和元年度3R促進ポスターコンクールの実施

環境省と共催で令和元年度3R促進ポスターコンクールを、以下のように実施した。

□募集期間 令和元年6月4日（火）～9月12日（木）

□応募数	小学生低学年の部（1～2年生）	548点
	小学生中学年の部（3～4年生）	1,531点
	小学生高学年の部（5～6年生）	1,648点
	中学生の部	1,813点
	合計	5,540点

□選考・第一次審査 令和元年9月30日（月）牛込竈笥地域センターコンドル

・第二次審査 令和元年10月7日（月）四ツ谷ひろば多目的ホール

□入賞 各部門で最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作10点、4部門計56点を選定

□表彰 令和元年10月29日（火）開催の第14回3R推進全国大会式典で各部門最優秀賞4名を表彰した。その他の入賞者には賞状が送付された。

## 3. 循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰の推薦

環境省が実施する循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰に対して、3R活動推進フォーラムでは、平成18年度から循環型社会の形成について顕著な成果を上げている個人、企業又は団体について会員団体から推薦を受け、環境省へ推薦している。令和元年度は、会員からの推薦はなかった。表彰式は、第14回3R推進全国大会式典の席で行われ、全体で6企業、6団体が受賞した。

# IV 連携・協働事業

## 1. セミナー等の開催

食品ロス削減の推進やマイクロプラスチック海洋ごみ対策問題等をテーマに、都道府県、3R推進団体連絡会、NPO団体など会員団体との連携セミナー等を12回にわたって開催した。なお、会員から強く要望のあった実務講座については、令和元年度に実証的に実施をして、講座プログラム作成の問題点等を把握した。

### (1) 3R活動推進フォーラムの自主事業による共催

①名称：令和元年度エコライフ・アクト大会

□主催：環境とやま県民会議、富山県、公益財団法人とやま環境財団

□共催：3R活動推進フォーラム

□令和元年6月22日（土）13：30～15：30

□会場：グランドプラザ

□参加者数：250名

□内容：

- ・富山県環境部門功労者表彰・環境月間ポスター表彰
- ・環境とやま県民会議活動方針報告
- ・「いつでも、どこでもマイバッグ運動」キックオフイベント
- ・親子向け講演会

- ・マシンガンズ・滝沢秀一氏のトークショー
- ・ゴミ拾いパフォーマンス 一世一代時代組（ゴミ拾い侍）

②名称：令和元年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会

□主催：公益財団法人廃棄物・3R研究財団、3R活動推進フォーラム

□令和元年10月4日（金）13：10～16：30

□会場：江戸東京博物館会議室

□参加者数：98名

□内容：

- ・特別講演「最近の廃棄物政策の動向と今後の展望について」

環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課 課長 名倉良雄氏

- ・調査研究等報告

「プラスチックの高度なリサイクルに資する省CO2型設備導入への補助金について」

（公財）廃棄物・3R研究財団 事業支援部 技術担当部長 佐藤善樹氏

「海面最終処分場の廃止と跡地利用検討・調査」

（公財）廃棄物・3R研究財団 技術振興部 部長 東海林俊吉氏

「災害廃棄物対策の強化に向けた自治体の人材育成について」

（公財）廃棄物・3R研究財団企画部 上席研究員 夏目吉行氏

「海外ビジネス支援センターの活動概要」

（公財）廃棄物・3R研究財団海外循環ビジネス支援センター 副センター長 松村隆氏

「中小廃棄物処理施設の廃棄物エネルギー回収に関する共同研究」

（公財）廃棄物・3R研究財団企画部 上席研究員 渡辺洋一氏

「焼却主灰の資源化・リサイクルに関する新たな方式の調査研究」

（公財）廃棄物・3R研究財団企画部 主任研究員 山口純二氏

「3R活動推進フォーラムの活動報告」

3R活動推進フォーラム 事務局長 藤波 博氏

③名称：ごみ減量自治体会議 in 関東

□主催：大阪ごみ減量推進会議

□共催：3R活動推進フォーラム

□協力：ごみ減量ネットワーク

□令和2年1月27日（月）13：30～16：30

□助成：地球環境基金

□会場：公益財団法人廃棄物・3R研究財団会議室

□参加者数：21名

□内容：

<第1部>話題提供

- ・話題提供1「SDGsとごみ問題」

大阪産業大学教授、大阪ごみ減量推進会議 会長 花田真理子氏

- ・話題提供2「循環・3R政策の国内外の動向」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団調査部 部長 藤波 博氏

- ・話題提供3「プラスチック資源循環戦略について」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室

永元雄大氏

#### <第2部>意見交換

廃棄物減量等推進員の活動の活性化に向け課題やその方法、主体間連携の先進事例等について、環境省、県、市町村の職員が一堂に会して意見交換を行った。

#### ④名称：循環・3Rリレーセミナー

～対応が進む日本の資源循環（プラスチック・食品ロス削減等）～

□主催：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会、3R活動推進フォーラム

□令和2年2月7日（金）13：30～16：30

□会場：アイビーホール「ミルトス」

□参加者数：107名

□内容：

#### <第1部>

- ・基調講演「持続可能な社会に向けた資源循環経済ビジネスの課題と展望」

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長、3R活動推進フォーラム会長

（中部大学経営情報学部教授・慶應義塾大学名誉教授）

細田衛士氏

#### <第2部>話題提供

- ・話題提供1「資源循環政策の動向」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長

富安健一郎氏

- ・話題提供2「食品ロス削減の推進と農林水産業・食品産業

におけるプラスチック資源循環の取組」

農林水産省食料産業局バイオマス循環資源課食品産業環境対策室 室長

野島昌浩氏

- ・話題提供3「プラスチック資源循環戦略と資源循環政策について」

経済産業省産業技術環境局資源循環経済課 課長

横手広樹氏

#### <第3部>トピックス

- ・トピックス1「プラスチック削減・食品ロス削減に向けた取り組み」

株式会社セブン-イレブン・ジャパン サステナビリティ推進室総括マネジャー

兼環境部会長

西山純生氏

- ・トピックス2「プラスチック資源循環の課題と展望」

一般社団法人プラスチック循環利用協会 専務理事

井田久雄氏

## (2) 会員との連携セミナー

①名称：プラスチック削減戦略セミナー in 福井

～海洋プラスチックごみ等プラスチック資源循環戦略を考える～

□主催：福井県、3R活動推進フォーラム

□協力：「プラスチック・スマート」フォーラム

□令和元年11月26日（火）13：00～16：00

□会場：福井県庁「正庁」

□参加者数：64名

□内容：

<第1部> 基調講演

「海洋プラスチックごみ問題の現状と今後の方向性」

環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室 室長

中里靖氏

<第2部> 話題提供

・話題1 「北陸2県の海洋ごみ対策の現状と課題」

① 「富山県の海岸漂着物対策～『世界で最も美しい富山湾』の保全～」

富山県生活環境文化政策課 主任

飯野弘奈氏

② 「福井県における海洋ごみの現状と対策について」

福井県安全環境部循環社会推進課 主任

松田祐民子氏

・話題2 「プラスチック資源循環の基礎知識」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事

久保直紀氏

・話題3 「『プラスチック・スマート』フォーラム事業」

一般財団法人日本環境衛生センター研修事業部 部長

村岡良介氏

②名称：プラスチックセミナー in 岩手

～海洋プラスチックごみ対策とプラスチック資源循環戦略を考える～

□主催：岩手県、3R活動推進フォーラム

□協力：「プラスチック・スマート」フォーラム

□令和2年2月4日（火）13：30～16：10

□会場：マリオス「188会議室」

□参加者数：100名

□内容：

<第1部>

・基調講演「海洋プラスチックごみ問題の現状と今後の方向性」

環境省水・大気環境局水環境課海洋環境室 室長

中里靖氏

<第2部>

・事例発表1 「岩手県立宮古水産高等学校のプラスチックごみ・

マイクロプラスチック調査研究活動」

岩手県立宮古水産高等学校海洋技術科 教諭

黒澤長氏

・事例発表2 「『プラスチック・スマート』フォーラム事業」

一般財団法人日本環境衛生センター研修事業部 事業推進役

鈴木弘幸氏

・事例発表3 「『ゼロエミッション東京』を目指す

『プラスチック削減プログラム』の概要」

東京都環境局資源循環推進部 専門課長

古澤康夫氏

・事例発表4 「プラスチック資源循環の基礎知識」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事

久保直紀氏

※「プラスチック削減戦略セミナーin和歌山、令和2年3月18日（水）」は、  
新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、開催を中止しました。

### (3) 3R推進団体連絡会との連携セミナー

①名称：容器包装交流セミナー in 福岡（第17回地方セミナー）

～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～

□主催：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

□日時：令和元年7月26日（金）13：00～16：45

□会場：パピヨン24 「第12会議室」

□参加者数：50名

□内容：

<第1部>話題提供

・話題1「プラスチックを取り巻く国内外の状況」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室

寺石杏映氏

・話題2「福岡県における容器包装廃棄物処理の現状とリサイクルの取組について」

福岡県環境部循環型社会推進課 主任技師

大内隆弘氏

・話題3「福岡市の3Rの取組み」

福岡市環境局循環型社会推進部家庭ごみ減量推進課 家庭ごみ企画係長

矢野沙織氏

・話題4「生活者とプラスチック製容器包装」

NPO法人エコけん 理事長

清水佳香氏

・話題5「容器包装の3Rに関する最新情報」

3R推進団体連絡会 幹事

久保直紀氏

<第2部>グループ討論

・3つのワーキンググループによる意見交換

・全体総括（グループ報告、全体報告）

②名称：容器包装交流セミナー in 京都（第18回地方セミナー）

～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～

□主催：3R推進団体連絡会、3R活動推進フォーラム

□日時：令和元年11月22日（金）13：00～16：50

□会場：京都テルサ東館「大会議室」

□参加者数：50名

□内容：

<第1部>

・基調講演「プラスチックを取り巻く国内外の状況」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 主査

高木慶大氏

<第2部>

・話題提供1「京都府循環型社会推進課の主な取組について」

京都府府民環境部循環型社会推進課 課長

笠原淳史氏

・話題提供2「京都市のごみ減量・リサイクルの取組」

京都市環境政策局循環型社会推進部ごみ減量推進課技術担当課長

勝美潤子氏

・話題提供3「海ごみ、脱プラ、世界とつながる私たちの暮らし」

京都市ごみ減量推進会議事務局・（公財）京都市環境保全活動推進協会

堀孝弘氏

- ・話題提供4「容器包装の3Rに関する最新情報」

3R推進団体連絡会 幹事

久保直紀氏

<第2部>グループ討論

- ・3つのワーキンググループによる意見交換
- ・全体総括（グループ報告、全体報告）

③名称：容器包装交流セミナー in 秋田（第19回地方セミナー）

～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～

□主催：3R推進団体連絡会・3R活動推進フォーラム

□日時：令和2年2月13日（木）13：00～16：15

□会場：TKPメトロポリタン秋田カンファレンスセンター「ジュエルA」

□参加者数：40名

□内容：

<第1部>

- ・基調講演「プラスチックを取り巻く国内外の状況」

環境省環境再生・資源循環局総務課リサイクル推進室 室長補佐

今井亮介氏

<第2部>

- ・話題提供1「秋田県の一般廃棄物の現状等について」

秋田県生活環境部環境整備課 主幹兼調整・循環型社会推進班 班長

小柳和己氏

- ・話題提供2「環境共生都市大館市における3R推進事業」

大館市市民部環境課環境企画係 係長

成田修氏

- ・話題提供3「環境・社会貢献活動」

環境省3R推進マイスター・秋田県環境審議会委員

山本まゆみ氏

- ・話題提供4「容器包装の3Rに関する最新情報」

3R推進団体連絡会 幹事

久保直紀氏

<第2部>グループ討論

- ・3つのワーキンググループによる意見交換
- ・全体総括（グループ報告、全体報告）

(4) 3R活動推進フォーラム環境塾

①名称：自治体シリーズ

「自治体職員のための初級実務講座～資源循環・3Rの推進に向けて～」

□主催：3R活動推進フォーラム

□日時：令和元年7月5日（金）9：15～16：50

令和元年7月12日（金）9：15～16：50

□会場：公益財団法人廃棄物・3R研究財団会議室

□参加者数：(7/5)12名、(7/12)11名 計23名

□内容：

I 行政概論（廃棄物処理法等の実務知識）

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 調査部長

藤波博氏

II 行政概論（総合判断説及び違法行為の実務知識）

- 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 調査部長 藤波博氏
- Ⅲ 一般廃棄物処理計画論
- (7/5) 株式会社エックス都市研究所環境エンジニアリング事業本部主席研究員 吉川克彦氏
- (7/12) 株式会社エックス都市研究所環境エンジニアリング事業本部取締役本部長 中石一弘氏
- Ⅳ 講話（廃棄物政策の変遷と今後の展望）
- (7/5) 公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事 大熊洋二氏
- (7/12) 公益社団法人全国都市清掃会議 事務局長 稲垣 正氏
- Ⅴ プラスチック特論（プラスチックの資源循環：リサイクル）
- プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事 久保直紀氏
- Ⅵ 循環経済特論（EUの循環経済（CE）政策とリサイクル制度）
- 公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムマネージャー 栗生木千佳氏
- Ⅶ 災害廃棄物計画論（災害廃棄物対策について）
- 環境省関東地方環境事務所 巨大災害廃棄物対策専門官 宇田仁氏
- Ⅷ 受講者との意見交換・名刺交換会

②名称：事業者（リサイクル）シリーズ

「資源循環・3R推進講座～国内外の資源循環ビジネスの動き～」

主催：3R活動推進フォーラム

後援：日本再生資源事業協同組合連合会

日時：令和元年8月2日（金）13：00～16：45

会場：主婦会館プラザエフ「スズラン」

参加者数：76名

内容：

- ・講座1「循環法制実務～廃棄物処理法を中心として～」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 調査部長

藤波博氏

- ・講話「温暖化対策と循環経済のメガトレンド」

公益財団法人廃棄物・3R研究財団 理事長

梶原成元氏

- ・講座2「EUCE（循環経済）政策の概要について」

公益財団法人地球環境戦略研究機関プログラムマネージャー

栗生木千佳氏

- ・講座3「高度ソーティングによる高品質な製品づくり」

トムラソーティング株式会社 代表取締役

佐々木恵氏

- ・講座4「プラスチック資源循環戦略と産業界の動向」

プラスチック容器包装リサイクル推進協議会 専務理事

久保直紀氏

③名称：市民・NPOシリーズ

「資源循環・3R推進講座～市民・NPOが知っておきたい3R基礎知識～」

主催：NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット、3R活動推進フォーラム

日時：令和2年1月31日（金）10：00～16：00

□会場：北とぴあ「スカイホール」

□参加者数：22名

□内容：

<第1部> 実務講座

- ・講座1「廃棄物処理法概論」

3R活動推進フォーラム 専任理事・事務局長

藤波博氏

- ・講座2「リサイクル法概論」

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット 事務局長

鬼沢良子氏

<第2部> ワークショップ

- ・情報1『脱・使い捨て』と『美味しいビール』を実現する“森のタンブラー”の社会実験～イノベーションで推進する行動変革～

アサヒビール株式会社イノベーション本部パッケージング技術研究所 古原徹氏

- ・情報2「イオングループからの最新情報」

イオン株式会社執行役（環境・社会貢献・PR・IR担当）付

金丸治子氏

- ・情報3「SDGs(持続可能な開発目標)とは～食の循環によるSDGsの実践事例～」

株式会社日本フードエコロジーセンター 代表取締役

高橋巧一氏

情報提供をもとにSDGsと今後の3Rについてワークショップを実施

- ・各グループからワークショップ報告を行うとともに情報交換を実施した。

※ケニア視察団が研修講座の状況視察を行った。

## 2. その他の後援・協賛等

### (1) 後援

- ①実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小・中学校への支援事業

- ・主 催：スチール缶リサイクル協会

- ・応募期間：令和元年6月1日(土)～令和元年10月31日(木)

- ②令和元年度建設副産物リサイクル広報用ポスター

- ・実施主体：建設副産物リサイクル広報推進会議

- ・掲出期間：令和元年10月1日(火)から令和2年9月30日(水)

- ③2019建設リサイクル技術発表会・技術展示会

- ・主催：建設副産物リサイクル広報推進会議, 北海道地方建設副産物対策連絡協議会

- ・技術発表会：令和元年10月2日(水)

- ・技術展示会：令和元年10月2日(水)～3日(木)

- ④第14回容器包装3R推進フォーラム

- ・主 催：3R推進団体連絡会

- ・開催期日：令和2年1月28日(火)

- ・会 場：千代田区立内幸町ホール

### (2) 協賛

- ①令和元年度環境衛生週間

- ・主 唱：環境省、都道府県及び市町村

- ・期 間：令和元年9月24日（火）～10月1日（火）
- ②第18回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」
- ・主 催：（公社）全国産業資源循環連合会、（公財）日本産業廃棄物処理振興センター、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団
- ・開催期日：令和元年11月15日（金）
- ・会 場：ホテルオークラ神戸

### （3）協力

- ①平成31年度「全国ごみ不法投棄監視ウィーク」
- ・実施主体：環境省、内閣府、総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省他  
関係省庁、都道府県、市町村、全国知事会、全国市長会、全国町村会等
- ・期 間：令和元年5月30日（木）～6月5日（水）
- ②第12回3R・低炭素社会検定
- ・主 催：3R・低炭素社会検定実行委員会
- ・試験日：令和元年11月10日（日）
- ・会 場：東京会場（武蔵野大学有明キャンパス）
- ・内 容：当日の運営及び管理・監督者の派遣

### （4）講師・審査会委員の派遣

- ①3R・低炭素社会検定講習会講師（3R・低炭素社会検定実行委員会主催）  
令和元年10月5日（土） 公益財団法人廃棄物・3R研究財団 会議室
- ②実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小・学校への支援事業審査会委員

### （5）散乱防止・美化キャンペーン

#### （スチール缶リサイクル協会との連携事業）

- ①令和元年6月1日（日）  
沖縄クリーンコーストネットワーク（OCCN）主催の「まるごと沖縄クリーンビーチ2019」にスチール缶リサイクル協会とともに参加し、豊崎美らSUNビーチにおいて、海岸清掃を行った。さらに、メンバー17名で観光客やクリーンビーチ参加者に対して、あき缶のポイ捨て防止等の協力をお願いする啓発活動を実施した。
- ②令和元年11月24日（日）  
焼津市主催の「やいずビーチクリーン大作戦」にスチール缶リサイクル協会とともに参加し、石津海岸公園付近において海岸清掃を行った。さらに、メンバー19名で焼津駅前の通行人に対して、あき缶のポイ捨て防止等の協力をお願いする啓発活動を実施した。

## V 広報普及活動

### 1. 展示会への出展

- (1) 全国都市清掃会議春季評議委員会及び定時総会展示コーナー  
開催日：令和元年5月22日（水）～23日（木）  
会場：川崎市コンベンションホール  
主催：公益社団法人全国都市清掃会議
- (2) エコライフ・フェア2019  
開催日：令和元年6月1日（土）～2日（日）  
会場：都立代々木公園ケヤキ並木及びイベント広場  
主催：環境省
- (3) にいがた市民環境フェア  
開催日：令和元年10月20日（日）  
会場：新潟市亀田駅前地域交流センター  
主催：にいがた市民環境会議  
共催：新潟市、新潟市地球温暖化対策地域推進協議会
- (4) 第14回3R推進全国大会展示コーナー  
開催日：令和元年10月29日（火）  
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター4階ホワイエ  
主催：環境省、関東地方環境事務所、新潟市、3R活動推進フォーラム

### 2. 刊行物等の発行

- (1) 年次報告書（2018年度版）の作成  
3R活動推進フォーラムの平成30年度事業を中心に報告書を作成、ホームページに掲載し、会員、都道府県等関係先に送付した。
- (2) 容器包装交流セミナー報告書2019の作成  
容器包装の3Rに関する市民、自治体、事業者との意見交換会のポイントをまとめた報告書を作成し、環境省、環境省地方環境事務所及び全国の自治体（都道府県、市町区村、一部事務組合）に送付した。
- (3) その他  
3R推進月間用ポスターの作成  
平成30年度3R促進ポスターコンクール入賞作品を使用した2種類の3R推進月間用のポスターデータを作成し、希望者に提供した。

### 3. インターネットを活用した情報発信

- (1) ホームページによる情報発信  
ホームページに各種お知らせ、開催イベントの様態及び関連資料、発行済みの刊行物・メルマガ等を掲載した。
- (2) メルマガ「3R・廃棄物ニュース」の配信  
関係省庁、都道府県、政令指定都市、会員団体等の情報を月3回配信した。
- (3) 3R活動推進フォーラム事務局通信（会員専用）の配信

会員向けに事務局業務の報告や環境省資料等を事務局通信として年5回配信した。

#### 4. 新聞・雑誌等における記事・広告掲載等

##### (1) 記事

###### ① ウェイスト・マネジメント

- ・令和元年 9月15日 3R推進全国大会開催告知記事
- ・令和元年10月25日 3R推進全国大会開催告知記事
- ・令和元年11月 5日 3R推進全国大会開催結果記事  
容器包装交流セミナーin 京都及びプラスチック削減戦略セミナーin 福井  
開催告知記事
- ・令和元年12月15日 資源循環・3R推進講座開催告知記事
- ・令和2年 1月15日  
容器包装交流セミナーin 秋田及びプラスチックセミナーin 岩手  
開催告知記事

###### ② 環境新聞

- ・令和元年10月23日 3R推進月間特集号記事

###### ③ 循環経済新聞

- ・令和元年10月 7日 3R推進全国大会開催告知記事
- ・令和元年11月18日 3R推進全国大会開催結果記事
- ・令和元年12月 2日 容器包装交流セミナーin 京都開催結果記事

###### ④ 月刊廃棄物

- ・令和元年10月号 3R推進全国大会開催告知記事
- ・令和元年12月号 3R推進全国大会開催結果記事

###### ⑤ 都市と廃棄物

- ・令和元年12月号 3R推進全国大会開催結果記事

###### ⑥ 新潟日報

- ・令和元年10月30日 3R推進全国大会開催結果記事

###### ⑦ 和歌山県広報誌「県民の友」

- ・令和2年 2月号  
プラスチック削減戦略セミナーin 和歌山開催告知記事

##### (2) 有料広告掲載

###### ① ウェイスト・マネジメント

- ・令和元年10月25日 3R推進全国大会特集号連名広告

###### ② 環境新聞

- ・令和元年10月16日 3R推進全国大会告知広告
- ・令和元年12月 4日 令和元年台風被害緊急支援広告
- ・令和2年 1月 1日 新年号特集企画名刺広告

#### 5. ガイドラインに沿ったRマーク表示の啓発・普及

Rマーク（再生紙使用マーク）について、環境省が策定した環境表示ガイドラインの

表示方法等広報に努め、また、Rマークのロゴを3R活動推進フォーラムホームページからダウンロードできるようにするとともに、使用に当たっての留意事項を掲載しました。なお、最近では、学校教材を出版する企業からの問い合わせが多くなってきている。

## VI 会員サービスの充実

### 1. 会員との連携・協働事業の実施

自治体等会員団体とセミナー等を開催した。なお、費用は連携団体と1/2の負担割合で実施し、運営ノウハウ等情報の共有化を図っている。(前掲13～14ページ)

### 2. 情報の発信・共有化

#### (1) 会員のイベント情報等をメルマガで配信

月3回配信しているメルマガ「3R・廃棄物ニュース」に会員のイベント情報等を掲載し、月3回配信した。

#### (2) 3R活動推進フォーラム事務局通信の配信

事業の企画や業務執行の状況等会員に随時報告するための事務局通信を年5回配信した。

#### (3) ホームページの会員ページへの情報提供

①令和元年度廃棄物・3R研究財団&3R活動推進フォーラム年次報告会資料をホームページ上に掲載した。

②環境省の行政資料等会員向け情報を掲載した。

③セミナー等参加者アンケート結果を掲載した。

### 3. 年次報告会資料の会員無料化

令和元年10月29日(金)の公益財団法人廃棄物・3R研究財団との共催による年次報告会の資料については、会員は無料とし、一般参加者は2,000円とした。

### 4. 団体加入

#### ①こどもエコクラブ

時代を担う子どもたちのコミュニケーションの能力、課題発見、解決能力、多様性を受容できる力、新しい価値を生み出す力など「未来を尽きる力」を育む活動を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

#### ②一般社団法人持続可能環境センター(3R・低炭素社会検定)

環境が将来にわたって持続するよう、家庭・企業・コミュニティ等において必要な知見を共有化するとともに、活動の輪を広げるための教育・人材の育成等を支援することにより、持続可能な地域社会づくりに貢献する目的で加入している。

### 5. 3Rグッズ等の配布

#### 3R推進月間用ポスターデータの配布

平成30年度3R促進ポスターコンクール入賞作品を使用した3R推進月間用ポスター用のデータ2種を作成、10月の3R推進月間を中心に希望者に提供した。